

リンゴハダニを捕食する天敵昆虫

福島県果樹試験場病理昆虫部
平成12～14年度試験研究成績書

1 部門名

果樹－リンゴ－病害虫防除
分類コード 04－01－23000000

2 担当者

岡崎一博・荒川昭弘・阿部憲義

3 要旨

福島県果樹試験場内に殺虫剤の依存度を大幅に低減したリンゴ園を設けて、リンゴハダニとその天敵の発生動向を調査した。

- (1) リンゴハダニの越冬卵密度が高い条件下で、リンゴハダニがふ化して増殖し始める6月下旬までの間、本種に対応する捕食性天敵が極めて少ないことが明らかになった。
- (2) 7月以降は、カブリダニ類、ハダニアザミウマ、ハネカクシ類、ハナカメムシ類およびハダニバエの発生が確認できる。しかし、カブリダニ類とハダニアザミウマ以外の天敵は極めて少なかった。
- (3) カブリダニ類以外の有望な天敵として、ハダニアザミウマがあげられる。8月以降、ハダニアザミウマの増加とともに、ナミハダニおよびリンゴハダニの減少が確認されており、ハダニ類の密度抑制に重要な役割を果たしていると思われる。
- (4) リンゴハダニに対する土着天敵の捕食効果は、ナミハダニに比べて弱い。したがって、リンゴハダニに対しては、多種類の土着天敵を保護する防除体系の再構築が必要である。

4 その他の資料等

なし